



令和5年4月12日・26日（全2回）コミセン自主事業
「カリブのドラム缶楽器 スティールパン教室」が
コミュニティセンター音楽室で開催されました。
午前・午後の2クラスに分かれてレッスンしました。



カリブのドラム缶楽器 スティールパン教室

講師は上尾市在住の小針彩菜さん。
上尾市にとどまらず全国で活動し素晴らしい演奏で観客を
魅了しています。



ドラム缶から作られたスティールパンの
歴史やトリニダード・トバゴのカー
ニバルについてのお話も。



マレット（バチ）の使い方や音階、音の
鳴らし方など基礎から習います。



まず最初に音の場所を覚えるのに苦戦。
小針さんのリズムに合わせて頑張ります。



かえるの歌をみんなで演奏。トレモロ
（連打）の練習もしました。



さらにステップアップしてトリニダ
ード・トバゴの曲「サンセット」を練習。



次回のレッスンに向け、小針さんから
練習課題も出ました！

2回目のレッスンは2週間ぶりのため、前回のおさらいからスタートしました。



家でイメージトレーニングをしてきた方も多かったようです。



小針さんのリズムに合わせて少しずつステップアップ。



2音を同時に出す（重音）打ち方を新しく習いました。



「サンセット」を全て弾けるよう短いパートに分けて繰り返し練習します。



体でリズムを感じながら南国気分楽しく演奏しましょう！というアドバイス通りリラックスして打てるようになってきました。



小針さんと参加者全員で「サンセット」を演奏。みんなで演奏する一体感を感じ感動！

コンサートで音楽を聴くだけでなく、実際にプロの演奏家の方に習う機会を…という希望から始まったこの企画。みんなで一緒に音楽を味わうことができるアンサンブルは音楽の醍醐味。心から音楽を楽しむ姿が印象的でした！

